



- 1 10月1日。今年で開設45周年を迎えた公設地方卸売市場で「市場感謝祭」が開催されました。和太鼓の演奏とともに始まった「マグロ解体ショー」。大きな本マグロが解体されていく迫力に、観客は目を丸くしていました。
- 2 10月8日。さわやかな秋晴れの中、支笏湖温泉の湖畔園地で開催された「支笏湖紅葉まつり」。今年の紅葉は素晴らしく、人気のきのこ汁やステージ演奏に負けず観光客を魅了していました。
- 3 10月12日。支笏湖ヒメマスふ化場の築港で、採卵用のヒメマス親魚が初水揚げされました。赤い婚姻色に染まったヒメマスは、定置網から移された箱の中で、水しぶきを飛ばしながら勢いよく跳ね回っていました。
- 4 10月15日。北ガス文化ホールで「ちとせ消費者まつり」が開催されました。市内協賛企業が提供する賞品が当たるスタンプラリーや地元野菜の販売などが行われたほか、名物干産力レーのおいしそうな香りが来場客の食欲をそそっていました。
- 5 10月15日。千歳科学技術大学で「稜輝祭」が開催されました。同校の特色を生かしたさまざまな理科実験コーナーや、移動動物園などが設置。家族連れに楽しんでもらおうとする学生たちの工夫がちりばめられていました。

## 編集後記

■今月の特集は、子育て部署を経験した自分にとって、ある意味での卒業論文となった。以前、保育士からこんな言葉を聞いた。「全ての家庭に下フマがある。そのシーンの一瞬を共に過ごし、感動と喜びを分かち合えるこの仕事を誇りに思う」。市内全ての教育・保育施設の従事者にエールを送りたい。

■仕事に行くとき、3歳の息子に泣かれることもあります。「ママ、お仕事やめてー」と叫ぶ息子を何とかためたくて、「帰りにお土産買ってこるから」と言いつつ、「大きいおもちゃ買ってきてね」とイヤリ。さまざまな葛藤を抱えながら、子どもたちのたくましさ、しなやかさに助けられる毎口です。

## 今月の表紙

生後間もない子と母親同士の交流事業「赤ちゃんあーつまれ♪」。手形を取られながらも、カメラに視線を向ける赤ちゃん。撮影者の自分の姿が映り込むほどの美しい瞳に、幸せのおすそ分けをもらった気分です。



9月15日 げんきっこセンターで撮影